

放射能とどう向き合うか

～被ばく回避の戦略とは～

放射能汚染の影響を回避するため、長期的な除染と避難の両立、原子力損害賠償の最新情報、法律的な観点、チェルノブイリにおける経験などを学んでいきませんか。地域社会の選択肢を増やしていくための学習会です。申込み不要です。お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

第1回 避難区域と原子力損害賠償の最新情報

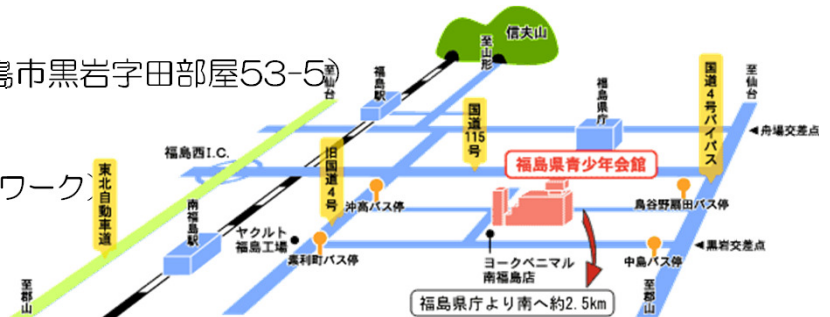
- ◆9月5日(月) 18:30～20:30
- ◆場所：福島県総合社会福祉センター講堂
(福島市渡利字七社宮111)
- ◆定員：120名 ◆入場：無料
- ◆講師：尾谷恒治(弁護士)
中手聖一(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク) など
- ◆内容：
 - ・特定避難勧奨地点検討の経緯と最新情報
 - ・原子力損害賠償についての最新情報
 - ・国際的な観点から…チェルノブイリの経験
 - ・選択できる環境づくりにもとめられること
 - …選択的避難区域の設定など
 - ・コミュニティを崩さない避難のあり方



【第1回、第3回会場案内】福島県総合社会福祉センター

第2回 除染と避難の両立～選択できるコミュニティ戦略

- ◆9月10日(土) 18:30～20:30
- ◆場所：福島県青少年会館(福島県福島市黒岩字田部屋53-5)
- ◆定員：50名 ◆入場：無料
- ◆講師：河原田晶浩 など
(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)
- ◆内容：
 - ・長期的な除染のあり方
 - 避難により長期的な除染を可能とする戦略
 - ・チェルノブイリの経験…避難戦略
 - ・特定避難勧奨地点検討の経緯と最新情報



【第2回会場案内】福島県青少年会館

第3回 被ばく最小化に、いま必要なこと

- ◆9月14日(水) 18:30～20:30
- ◆場所：福島県総合社会福祉センター講堂(福島市渡利字七社宮111)
- ◆定員：60名 ◆入場：無料
- ◆講師：阪上武(福島老朽原発を考える会代表) など
- ◆内容：
 - ・内部被ばくの基礎知識
 - ・子どもたちの尿検査から学ぶこと
 - ・県民健康管理調査の問題点
 - ・チェルノブイリの経験…低線量被ばくの知見から学ぶ
 - ・避難と除染の最新情報

- ◆主催：子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク
福島老朽原発を考える会(フクロウの会)、国際環境NGO FoE Japan
- ◆問い合わせ：FoE Japan 連続講座「放射能とどう向き合うか」係
Tel: 03-6907-7217(平日昼間) Fax: 03-6907-7219
携帯: 090-6142-1807(休日、夜間) 満田(みつた)
- 住所：東京都豊島区池袋3-30-8 みらい館大明1F